



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東京産業株式会社

コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 里見 利夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 須藤 隆志

TEL 03-5203-7841

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	127,627	69.7	755	21.8	932	18.9	615	38.4
25年3月期第2四半期	75,186	△37.5	619	10.2	784	12.2	444	55.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	22.92	—
25年3月期第2四半期	16.56	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,391		18,093		18,093	51.1
25年3月期	69,208		17,433		17,433	25.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 18,093百万円 25年3月期 17,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	1.2	1,200	10.3	1,400	2.4	810	7.3	30.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	28,678,486 株	25年3月期	28,678,486 株
26年3月期2Q	1,824,461 株	25年3月期	1,821,961 株
26年3月期2Q	26,855,530 株	25年3月期2Q	26,859,305 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策や成長戦略に基づく経済政策により、円安・株高が進行し消費マインドや企業業績が改善されるなど、景気回復の動きが見られます。一方で、消費税率の引上げが決定されたことから、今後の景気に多大な影響を与えることが予想されております。

また、米国債務上限問題、欧州経済の回復の遅れ、新興国の経済成長の鈍化などの懸念材料も依然としてあり、先行き不透明な状況が続いております。

このようななか、当社の当第2四半期累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ50億20百万円増加の619億53百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、前年同四半期に比べ524億41百万円増加の1,276億27百万円（前年同四半期比69.7%増）となりました。

売上総利益は28億48百万円（前年同四半期比5百万円増、0.2%増）、営業利益7億55百万円（前年同四半期比1億35百万円増、21.8%増）、経常利益9億32百万円（前年同四半期比1億47百万円増、18.9%増）、四半期純利益6億15百万円（前年同四半期比1億70百万円増、38.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

受注及び販売の状況
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

セグメント別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	36,076 (36,435)	58.2 (64.0)	△358	107,289 (53,679)	84.1 (71.4)	53,610	214,513 (298,223)	91.7 (95.1)	△83,710
化学機械 関連部門	12,361 (7,231)	20.0 (12.7)	5,130	9,511 (8,247)	7.4 (11.0)	1,263	7,711 (4,828)	3.3 (1.5)	2,882
電子精機 関連部門	3,911 (8,285)	6.3 (14.6)	△4,373	5,005 (7,705)	3.9 (10.2)	△2,699	4,373 (6,795)	1.9 (2.2)	△2,422
環境・船舶 関連部門	7,541 (3,040)	12.2 (5.3)	4,501	3,934 (3,746)	3.1 (5.0)	187	5,611 (2,512)	2.4 (0.8)	3,098
その他	2,060 (1,938)	3.3 (3.4)	121	1,886 (1,806)	1.5 (2.4)	79	1,629 (1,313)	0.7 (0.4)	315
合計	61,953 (56,932)	100.0 (100.0)	5,020	127,627 (75,186)	100.0 (100.0)	52,441	233,838 (313,673)	100.0 (100.0)	△79,835

(電力関連部門)

売上高は1,072億89百万円と前年同四半期に比べ536億10百万円の増加となっております。また、成約高は360億76百万円（前年同四半期比3億58百万円減）、成約残高は2,145億13百万円（前年同四半期比837億10百万円減）となりました。

(化学機械関連部門)

売上高は95億11百万円と前年同四半期に比べ12億63百万円の増加となっております。また、成約高は123億61百万円（前年同四半期比51億30百万円増）、成約残高は77億11百万円（前年同四半期比28億82百万円増）となりました。

(電子精機関連部門)

売上高は50億5百万円と前年同四半期に比べ26億99百万円の減少となっております。また、成約高は39億11百万円(前年同四半期比43億73百万円減)、成約残高は43億73百万円(前年同四半期比24億22百万円減)となりました。

(環境・船舶関連部門)

売上高は39億34百万円と前年同四半期に比べ1億87百万円の増加となっております。また、成約高は75億41百万円(前年同四半期比45億1百万円増)、成約残高は56億11百万円(前年同四半期比30億98百万円増)となりました。

(その他)

売上高は18億86百万円と前年同四半期に比べ79百万円の増加となっております。また、成約高は20億60百万円(前年同四半期比1億21百万円増)、成約残高は16億29百万円(前年同四半期比3億15百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産の部

当第2四半期会計期間末における総資産は、353億91百万円となり、前事業年度末と比較して338億16百万円の減少となりました。主な要因として、売上債権及び前渡金の減少等により流動資産が334億96百万円減少し、投資有価証券の売却等により固定資産が3億20百万円減少したことによるものであります。

(ロ) 負債の部

当第2四半期会計期間末における負債合計は172億98百万円となり、前事業年度末と比較して344億76百万円の減少となりました。この主な要因は、仕入債務及び前受金の減少等により流動負債が345億8百万円減少し、繰延税金負債の増加等により固定負債が31百万円増加したことによるものであります。

(ハ) 純資産の部

当第2四半期会計期間末における純資産合計は180億93百万円となり、前事業年度末と比較して6億59百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は51.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前年同四半期末と比較して17億1百万円増加の94億21百万円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は10億51百万円(前年同四半期比41百万円増)となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額107億93百万円等であり、支出の主な内訳は仕入債務の減少額98億35百万円等であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、増加した資金は4億45百万円(前年同四半期比3億94百万円増)となりました。収入の主な内訳は投資有価証券の売却による収入7億10百万円等であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出1億61百万円、投資有価証券の取得による支出1億4百万円等であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は1億46百万円(前年同四半期比4百万円減)となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表致しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,665	7,113
受取手形及び売掛金	26,286	15,492
有価証券	2,798	2,698
商品	294	489
前渡金	25,322	913
その他	410	497
貸倒引当金	△158	△82
流動資産合計	60,618	27,121
固定資産		
有形固定資産	2,560	2,513
無形固定資産	74	65
投資その他の資産		
投資有価証券	4,940	4,663
その他	1,055	1,068
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	5,954	5,690
固定資産合計	8,589	8,269
資産合計	69,208	35,391
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,512	5,228
受託販売未払金	16,370	7,805
短期借入金	1,570	1,565
未払法人税等	280	360
前受金	25,684	1,147
引当金	317	285
その他	490	323
流動負債合計	51,224	16,716
固定負債		
引当金	153	92
その他	397	489
固定負債合計	551	582
負債合計	51,775	17,298

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,655	2,655
利益剰余金	11,121	11,602
自己株式	△536	△537
株主資本合計	16,683	17,163
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	636	787
繰延ヘッジ損益	△9	18
土地再評価差額金	123	123
評価・換算差額等合計	749	929
純資産合計	17,433	18,093
負債純資産合計	69,208	35,391

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	75,186	127,627
売上原価	72,343	124,778
売上総利益	2,843	2,848
割賦販売未実現利益戻入額	0	1
差引売上総利益	2,844	2,850
販売費及び一般管理費	2,224	2,094
営業利益	619	755
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	109	120
その他	50	51
営業外収益合計	175	186
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	2	1
営業外費用合計	10	9
経常利益	784	932
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	9	95
その他	1	—
特別利益合計	14	95
特別損失		
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	50	—
その他	0	0
特別損失合計	50	2
税引前四半期純利益	747	1,025
法人税、住民税及び事業税	325	366
法人税等調整額	△22	43
法人税等合計	302	410
四半期純利益	444	615

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	747	1,025
減価償却費	121	131
投資有価証券評価損益(△は益)	50	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	—
有形固定資産処分損益(△は益)	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△9	△93
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	△76
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△35
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△31	△58
受取利息及び受取配当金	△124	△135
支払利息	8	8
売上債権の増減額(△は増加)	13,950	10,793
たな卸資産の増減額(△は増加)	△129	△195
リース投資資産の増減額(△は増加)	10	3
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,661	△9,835
未払又は未収消費税等の増減額	△54	△69
その他	△352	△268
小計	1,452	1,197
利息及び配当金の受取額	124	135
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△558	△272
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	1,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△152	△161
有形固定資産の売却による収入	136	6
無形固定資産の取得による支出	△0	△6
投資有価証券の取得による支出	△500	△104
投資有価証券の売却による収入	35	710
貸付金の回収による収入	32	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	50	445

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	860	860
短期借入金の返済による支出	△860	△860
長期借入金の返済による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△1	△6
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△134	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141	△146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	918	1,347
現金及び現金同等物の期首残高	6,801	8,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,720	9,421

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	53,679	8,247	7,705	3,746	73,379	1,806	75,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	53,679	8,247	7,705	3,746	73,379	1,806	75,186
セグメント利益又は損失 (△)	133	△24	319	92	521	98	619

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	521
「その他」の区分の利益	98
四半期損益計算書の営業利益	619

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	107,289	9,511	5,005	3,934	125,740	1,886	127,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	107,289	9,511	5,005	3,934	125,740	1,886	127,627
セグメント利益	440	159	27	3	631	124	755

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	631
「その他」の区分の利益	124
四半期損益計算書の営業利益	755